

今年もお盆がくるか

各地で多彩に繰り広げられた夏祭りもおわり、学校は夏休みに。今月はお盆がきます。正月よりも「また1年たつか」と年の重ねを思うのは私ばかりではないかもしれません。父を亡くしてからそれがより深くなつたようで、若い頃とは違って親族や知人・先輩たちを送ることが増える、そんな年恰好になつたせいでしょうか。感謝の念を忘れず、家族皆で先祖様をお迎えしたいものです。えご練りと棒鰯煮を用意して。

今回は、いつか書きたいと思つてきた高校時代からの親友M君のお父さんのことを。教員をされていた親友の父上は多くのみなさんに慕われた人で、M君は大学卒業後、故郷へは帰らず在京で今も活躍しています。が、父上は帰郷した私が時折お会いした際などに温かい励ましの言葉をかけてくださる方でした。4年前に訃報が伝えられ、その後再会した親友に聞かされた話に感じ入りました。病床にあった父のもとに2人の兄、姉と末弟のM君が集つた時のこと。彼我ともに余命いくばくもないこと

を知る、お盆間近の頃。4人に先々の事を細やかに指示し、「皆で母さんを支えるように」と伝えたと、「いいか」と改まってこう言つたそうです。「お前たちが仲たがいをした時には、化けて出るので覚えておけ」、そして「ああ、気分が良くなつた。あとは皆で仲良く飲め」と。指示の中には、「誂」を愛された父上らしく、その趣味仲間やお世話になつた方々へ届けるようにと用意されていたお礼の品と届け先の名簿があり、堅気にも子どもたちはそれを残らず配り終えて、父に報告。程なく息を引き取られた。親友の弁では「人生にきちんと始末をつけて逝つた。真面目一辺倒ではなく馴れた面もある、魅力的な男だった」。

棺の蓋を覆いて人生定まる…。毛利元就の三本の矢の逸話も秀逸ですが、この話も実にいい。「〇〇の時は化けて出る」、私もいつか自分の子どもたちに言い放つてみたいが叶うかどうか。〇〇に何が入るかはまだ。それがお盆の時分なら、なお効果的かな。

健康ひろば

知らないと怖いCKD(慢性腎臓病)
～慢性腎臓病の基礎知識、予防のポイント～

CKD(慢性腎臓病)は新たな国民病といわれています。症状が進むと尿が作られなくなり、人工透析が必要になります。が、早期発見、早期治療で予防できます。

腎臓専門医から慢性腎臓病の基礎知識や予防についての話を聞くことができます。あなたの大切な腎臓を守るために、ぜひご参加ください。

講演会

日時 9月5日(木) 19:00～20:10

会場 本庁舎 大会議室

講師 田部井 薫先生

(南魚沼市民病院 透析センター長)

申込先 保健課

申込締切 8月30日(金)



【問合せ】 保健課 ☎773・6811

救急医療 ～夜間などに困ったときは～

電話相談 時 19:00～翌朝8:00(毎日)

- ・新潟県救急医療電話相談 対 15歳以上
☎025・284・7119(＃7119でも可)
- ・新潟県小児救急医療電話相談 対 15歳未満
☎025・288・2525(＃8000でも可)

詳しくは



市ウェブサイト



AI救急相談アプリ

LINEで相談「AI救急相談アプリ」

救急医療の相談や緊急度の判定ができます。

全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」

緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供します。事前にアプリをダウンロードして、いざというときに備えましょう。

総務省消防庁
ウェブサイト

休日・夜間救急 連絡先

- ・南魚沼市民病院 ☎788・1222
- ・魚沼基幹病院 ☎777・3200
- ・齋藤記念病院(脳神経外科救急) ☎773・5111